



2024 年度入試から 情報理工学院学士課程の募集を 40 人増員

ー データサイエンス・AI 技術に精通した高度情報専門人材育成を強化ー

東京工業大学は、2024 年 4 月入学の学士課程入試から、情報理工学院の募集人員を 40 人増員します。

これにより、情報理工学院の募集人員は、現行（2023 年 4 月）の 92 人から 132 人に約 44%増となります。すでに公表している総合型選抜への女子枠（14 人）の導入と合わせ、下表のとおりとなります。

表) 2024 年 4 月入学者入試における情報理工学院の募集人員

一般選抜 前期日程	総合型選抜		合 計
	一般枠	女子枠	
112 人 (86 人)	6 人 (6 人程度)	14 人 (－)	132 人 (92 人)

※ () 内は、2023 (令和 5) 年入学者の募集人員

この増員は特定地域内学部収容定員の増加に係る届出を経て募集人員の増加を行ったものです。なお、本学の他学院の募集人員に変更はなく、本学全体の募集人員は、1,068 人から 40 人の増員となり、2024 年 4 月入学の学士課程入試から、1,108 人になります。

また、2024 年度入学者が大学院へ進学する 2028 年度からは、情報理工学院の修士課程と博士後期課程の定員も増員することを計画しています（現時点では修士課程 15 人・博士後期課程 5 人の増員を予定）。

日本の情報専門人材の不足と本学の状況

日本では情報専門人材が慢性的に不足している状況で、経済産業省の試算では、2030 年に最大で約 79 万人の IT 人材が不足することが試算されており、AI 人材については、約 12.4 万人の不足が予想されています（参考 1）。このように情報技術に精通した高度情報専門人材の不足解消は、喫緊の社会的課題となっています。

こうした社会的な背景を受けて、情報分野に進学を希望する高校生等も増加しており、本学の令和 5 年度学士課程入学者選抜では、情報理工学院の一般選抜（前期日程）で 86 人の募集に対し 848 人の志願者があり、志願者倍率は、9.9 倍と非常に高い倍率でした（参考 2）。

今回の情報理工学院の定員増は、情報分野への進学希望の高まりを受けて、募集人員を

増やすと同時に、日本の IT・AI 分野における人材不足解消に資するべく、高度情報専門人材育成を加速させる取り組みです。

定員増に合わせた学びの環境の充実

今回、学士課程の入学定員を 92 人から 132 人と大幅に増員するにあたっては、さまざまな学修環境の整備を同時に行います。例えば、情報分野の教員増、授業で使用するコンピュータなど機材の増設、ネットワーク環境の強化、必要な教室の確保を行い、また授業科目ごとの適切な収容人数を維持することで、募集人員増により教育環境が低下しないように注意を払います。

本学は、今回の取り組みにより、より多くの情報分野を目指す優秀な人材を受け入れ、データサイエンス・AI 技術をはじめとした最新の情報技術を身に着けた世界で活躍できる高度情報専門人材を育成していきます。

東京工業大学 情報理工学院長 増原英彦のコメント

ChatGPT をはじめとする生成 AI 技術の急速な発展に見られるように、現在の情報技術の進歩は速く、またその情報技術を用いた社会構造の変革もますます高度化・高速化しています。しかし、日本においては、情報技術人材、とりわけデータサイエンス・AI 人材の不足は深刻で、企業においても人材の確保が難しい状況です。今後は、AI 技術がさらに一般化し、さまざまな分野で AI の利用が浸透すること（AI の民主化）が予想されますが、AI はその原理や特性を深く理解した上で正しく利用する必要があります。特に、医療や法律といった誤った判断が重大な結果を招く分野では、その分野の特徴を踏まえた適正な利用が求められます。これらの状況を考えると、今後、さまざまな社会的課題解決のためには、各専門分野とデータサイエンス・AI をはじめとした情報技術の両方の知識を兼ね備えた高度情報専門人材を育成していく必要があると考えています。

一方で、社会の IT 化や AI への関心の高まりを受けて、本学の情報理工学院へは、大変多くの進学希望をいただいておりますが、残念ながら限られた学生数しか受け入れることができずしてまいりました。この状況を改善すべく、このたび、情報理工学院学士課程において、現在の募集人員である 92 人に対して、約 44%となる 40 人という大幅な増員を行うこととしました。合わせてこれらの学生が卒業・進学する 5 年後には、修士課程定員も増員し、本学が従来から標榜している学士課程と修士課程の一貫教育を情報系分野で強化し、真に社会的課題を解決できるトップ人材の育成を目指していきます。

高校生・受験生、そしてその保護者の皆さまには、ぜひ今回の取り組みの趣旨を理解いただき、積極的に本学への志望をご検討ください。

参考リンク

- (1) 経済産業省「IT 人材需給に関する調査（概要）」（2019 年 4 月）
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/gaiyou.pdf
- (2) 東京工業大学 高校生・受験生サイト「入学試験状況」
<https://admissions.titech.ac.jp/admissions/admission/admission/data>

【問い合わせ先】

(入試以外の事項について)

東京工業大学 学院等事務部 情報理工学院業務推進課 情報理工学院事務グループ

Email: com.adm@jim.titech.ac.jp

(入試について)

東京工業大学 学務部 入試課

Email: nyu.gak@jim.titech.ac.jp

【取材申し込み先】

東京工業大学 総務部 広報課

Email: media@jim.titech.ac.jp

TEL: 03-5734-2975 FAX: 03-5734-3661